

## 愛媛支部

### 盛りだくさんの一日

7月13日（土）、愛媛県視聴覚福祉センターで、学習会を

二つ開催しました。

午前には、学習部による「ひめ通研学習会～愛媛の手話を知ろう～第4弾」です。ろう者が地元で育ててきた手話文化に沿った表現を学びました。講師の軽妙な話術で、楽しく学びながら、ろう者に伝わる表現について改めて考える機会となりました。

午後は、健康対策部による「日本赤十字社出張講習会『健康生活支援講習』」です。前半は、能登半島地震での支援活動についてお話しいただきました。後半は、ハンドケアとフレイル予防について、実際に体験しながら学びました。

さらにこの日は、午前に設置手話通訳者会議、午後に支部機関紙印刷もあり、盛りだくさんの一日でした。

今年度は、「先日、愛媛でも災害がありました……」という言葉で学習会が始まることが多いように感じます。学習や情報提供の場を増やし、知識や経験を積み重ねていくことで、いざというときの備えに役立てばと願っています。



### 心も体も健やかです♪

## 香川支部

6月23日（日）聴覚障害者福祉センターにおいて、午前中

は健康対策班、午後からは医療班が学習会を開催しました。健康対策班は「日常生活のストレス軽減法を学ぼう！」のテーマで、アロマの外部講師による自律神経とストレスについて学んだあと、アロマオイルを使って腕のマッサージをしたり、自分の好きな香りのバスソルトを作りました。参加者からは「ストレスも悪いものばかりではないことを初めて知った」との感想があり、ほんのひと時ではありましたが心が癒され元気になりました。

そして午後からの医療班は、高松市の保健師による「ウォーキングによる健康づくり・熱中症対策」をテーマに、効果・継続のポイント・基本姿勢等について、クイズを交えてわかりやすく教えていただきました。自分の身長から計算した歩幅は意外に大きく驚きました。続いて医療班のメンバーが『コグニサイズ（認知症予防運動）』を紹介しながら、脳と体を使うミニエクササイズを、皆で楽しく行いました。1日を通し心と体が元気になり、明日からのエネルギーチャージ完了です。



# あさいと 福祉

### 『とさ通研定例学習会を開催しました』

6月23日（一社）全国手話通訳問題研究会会長の渡辺正夫氏に「全通研50周年～その歩みと運動を未来へ～」をテーマにご講演いただきました。

お越し頂きたかったのですが都合があわずzoomでの開催になりました。歴代会長の顔写真付きでの紹介から全通研の活動の歩み、ちば通研の活動を織り交ぜながら防災の話など分かりやすい話し方で心に響きました。ろう者の日常的な不便さや手話通訳制度の必要性を強く考える学習会になり他人事ではなく自分事として考える姿勢を身につけていこうと気持ち引き締まったとの感想もありました。ちば通研の活動から私たちに必要な事を学び、具体的な防災の備えも再認識できました。そして創立50周年に向けての組織の課題など豊富な内容でした。

今後の50年を考えより充実・発展させるための見通しを考えていく、その為にも皆で一緒に前に進もうと締めくくられました。

## 高知支部



### 「徳島県手話言語条例制定へあと二歩」

6月19日（水）徳島県6月定例議会本会議で、聴覚障害者制度改革推進徳島本部の顧問である公明党の梶原議員が、手話言語条例の制定について後藤田知事に考えを質したところ、後藤田知事から「手話の普及を促す『手話言語条例』制定を目指す」と考えを示しました。その日中に県障がい福祉課から、来年度の条例制定に向けて検討委員会を開催する旨連絡があり、すでに条例案が出来上がった状態で会議の日にちが伝えられました。

すぐさま推進本部との話をしてほしいと申し出をして、7月3日（水）に当事者の意見を聞く場を設け、前文、条文の要望以前に、どういう条例を作ってほしいのかを出席者から意見を述べていきました。現場の声を反映した実効性のある条例を求めました。その会議を受け本部会議からの条例案も県へ提出し、7月30日（火）に第1回検討委員会が開催されました。

私たちの思いは「手話の使用を制限され、教育や暮らしの中で差別を受け権利を蹂躪されてきた歴史への理解」です。その条例案は、10月8日（火）までパブリックコメントで意見募集を行っています。当事者の意見が十分に組み取られるよう皆さんにも意見を多く寄せていただき、関心があることを示していきたいと思っております。（日本聴力障害新聞9月1日号P-3 掲載記事参照）

## 徳島支部